

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田				
科目名	エステティックカウンセリング	学 年	2年	実施時期	前期		
授業形態	講義/演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15		
教育目標・ ねらい	コンサルテーションシートに記載されている項目すべてにおいて、根拠を述べることが出来るよう理論の復習を兼ねて学ぶ						
授業回	学習内容			備 考			
1	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 1. 禁忌事項 2. 生活習慣 【到達目標】禁忌事項の理由をすべて説明出来るよう総復習を行い、生活習慣が肌・身体トラブルにどのように関係するか説明が出来るようにする						
2	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 3. 肌分析 【到達目標】皮脂量や水分保持状態・血液循環・皮膚の弾力等のすべての項目を説明出来るようになる						
3	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 4. 身体の分析 【到達目標】筋肉量の状態、姿勢・脂肪やセルライト等の身体の現状を分析し、施術目的の裏付けを説明出来るようになる						
4	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 5. ホームケアアドバイス 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答えることが出来る						
5	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（フェイシャル） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答えることが出来る						
6	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（ボディ） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答えることが出来る						
7	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（フェイシャル） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答えることが出来る						
8	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（ボディ） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答えることが出来る						
到達目標	お客様の情報分析から、理論に基づいた考察を行うことが出来説明まで出来るようになる						
評価方法	提出課題（作品）・課題レポート（80%）、リアクションペーパー・小テスト（20%）、出席状況、受講態度等を考慮して成績評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。						
テキスト	シデスコマニュアルテキスト 配布プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エスティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエスティシャン養成の観点から授業を行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添				
科目名	エステティック技術理論 (フェイシャル)	学年	2	実施時期	前期		
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	12		
教育目標・ねらい	サロンを想定し、実際のお客様の肌分析を行い応用知識・技術を活かし施術工程内容を理解する						
授業回	学習内容			備考			
1	電気機器 7. 低周波 【シデスコ対応低周波実技理論】 【到達目標】低周波の周波数によって、筋肉を収縮させる電気5要素を理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態にのって機器の選択が出来るようになる。						
2	シデスコ対応ティティング・ツイーリング理論 【到達目標】睫毛・眉毛を染料で染める商材の成分や濃度を理解し、使用目的・頻度・禁忌事項を理解し、シデスコ国際試験合格レベル技術を習得する						
	シデスコ対応ビフォーカウンセリング理論① 【到達目標】コンサルテーションシートの使用目的を理解し、記入方法を学ぶ						
3	シデスコ対応ビフォーカウンセリング理論② 【到達目標】コンサルテーションシートを使用し、お客様の悩みに沿って施術内容を決める為に情報収集を行う。トラブルの原因を分析し、施術の必要性を簡潔に説明できるようする。						
	シデスコ対応アフターカウンセリング理論① 【到達目標】施術後の効果をお客様に説明し、トラブルの原因を再度確認し説明出来るようになる。						
4	シデスコ対応アフターカウンセリング理論② 【到達目標】施術後の効果を持続させる為に、次回のサロン予約のご案内やホームケア商品のご提案を行うことが出来るようになる。						
	シデスコ対応ホームケアアドバイス化粧品編 【到達目標】肌トラブルの改善を行う為、ホームケア商品の使用方法・成分・効果を説明出来るようになる。						
5	シデスコ対応ホームケアアドバイス栄養学編 【到達目標】肌トラブル改善の為、生活習慣の見直しをお客様と一緒に確認をする。トラブルの原因を分析し、生活習慣と肌トラブルの繋がりを説明出来るようになる。						
6	シデスコ対応口頭試問対策講座 【到達目標】知識と技術の連動性を確認し、理論的に技術の説明が出来るようになる			口頭試問小テストあり			
到達目標	シデスコ国際試験に向けて、全ての学科の総まとめを行い、施術工程の口頭試間に答える事が出来る						
評価方法	各期の学科試験、小テスト（学科試験80%、小テスト20%）、出席状況、受講態度等を考慮して成績評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない						
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト シデスコマニュアルテキスト 来客実習マニュアルテキスト 配布プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添				
科目名	エステティック技術理論（ボディ）	学 年	2	実施時期	前期		
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	12		
教育目標・ねらい	サロンを想定し、実際のお客様のボディ分析を行い応用知識・技術を活かし施術工程内容を理解する						
授業回	学習内容			備 考			
1	電気機器 7. 低周波 【到達目標】 低周波の周波数によって、筋肉を収縮させる電気5要素を理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意・禁忌事項を理解し、説明・実践出来るようになる。また、お客様の身体症状により機器の選択が出来るようになる			※ 小テスト			
	シデスコ対応ビフォーカウンセリング理論① 【到達目標】 コンサルテーションシートの使用目的を理解し、記入方法を学ぶ						
2	シデスコ対応ビフォーカウンセリング理論② 【到達目標】 コンサルテーションシートを使用し、お客様の悩みに沿って施術内容を決める為に情報収集を行う。トラブルの原因を分析し、施術の必要性を簡潔に説明できるようになる。						
3	シデスコ対応アフターカウンセリング理論① 【到達目標】 施術後の効果をお客様に説明し、トラブルの原因を再度確認し説明出来るようになる。						
4	シデスコ対応アフターカウンセリング理論② 【到達目標】 施術後の効果を持続させる為に、次回のサロン予約のご案内やホームケア商品のご提案を行うことが出来るようになる。						
5	シデスコ対応ホームケアアドバイス化粧品編 【到達目標】 身体症状の改善を行う為、ホームケア商品の使用方法・成分・効果を説明出来るようになる。 シデスコ対応ホームケアアドバイス栄養学編 【到達目標】 身体症状の改善の為、生活習慣の見直しをお客様と一緒に確認をする。トラブルの原因を分析し、生活習慣と肌トラブルの繋がりを説明出来るようになる。						
6	シデスコ対応口頭試問対策講座 【到達目標】 知識と技術の連動性を確認し、理論的に技術の説明が出来る			口頭試問小テストあり			
到達目標	シデスコ国際試験に向けて、全ての学科の総まとめを行い、施術工程の口頭試問に答える事が出来る						
評価方法	各期の学科試験、小テスト（学科試験80%、小テスト20%）、出席状況、受講態度等を考慮して成績評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない						
テキスト	新エステティック学－技術編Ⅰ AEAボディ実技理論 シデスコマニュアルテキスト 来客実習マニュアルテキスト 配布プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添				
科目名	エステティック技術理論（ネイル）	学 年	2	実施時期	前期		
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10		
教育目標・ねらい	マニュキュア技術を修得するために必要な技術理論と、爪は皮膚の付属器官であることから、正しい知識を身に着け衛生の観点から安全に技術が出来るように理解する。						
授業回	学習内容			備 考			
1	<p>【ネイル概論】 1. マニュキュアの歴史 2. マニュキュアの必要性 3. ネイル技術体系</p> <p>【到達目標】マニュキュアの歴史を、海外と日本に分けて時代背景を学び、使用する材料の特徴・技術の発達を学ぶ。また、マニュキュアの必要性を内的要因・外的要因の観点から考え、ネイルケアの必要性を説明することが出来るよ</p>						
2	<p>【指先の機能と爪の役割・構造と働き】</p> <p>【到達目標】爪の各部組織の名称・役割を学び、皮膚の付属器官の組織を理解する</p> <p>【手の骨格・関節・筋肉・腱】</p> <p>【到達目標】手・前腕部の骨格。手関節について、骨の数と構成を正しく理解する</p>						
3	<p>【手の神経と循環組織】</p> <p>1. 手の皮膚神経 2. 感覚受容器 3. 手の循環組織 4. リンパ系</p> <p>【爪の病気とトラブル】</p> <p>1. ネイルカウンセリングの重要性 2. 爪の異常 3. 爪の病気とトラブル</p> <p>【到達目標】神経と循環組織の理解を行い、禁忌事項の確認を行うことが出来る</p>						
4	<p>【マニキュア化粧品の特徴と効果】</p> <p>【到達目標】主成分・主要成分、使用頻度や管理方法を学び、爪の状態を判断して商材を選択出来るようになる。</p>						
5	【シデスコ対策ネイル技術理論】 ※ 口頭試問集より総復習			※ 小テスト			
到達目標	マニュキュア技術工程の意味を理解し、成分や特性・爪の病気を理解することで安全に技術を行うことが出来る。また、爪の構造を学び、様々な爪の状態のお客様の対応力が身につく。						
評価方法	各期の学科試験、小テスト（学科試験80%、小テスト20%）、出席状況、受講態度等を考慮して成績評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない						
テキスト	新エステティック学一技術編II シデスコ対策配布プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エスティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエスティシャン養成の観点から授業を行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添				
科目名	エステティック技術理論（美容脱毛）	学 年	2	実施時期	前期		
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	12		
教育目標・ねらい	美容脱毛全体を理解し、脱毛技術の知識を実践的に理解する。また、安心・安全に技術とカウンセリングが出来るようになる。						
授業回	学習内容			備 考			
1	<p>【美容脱毛学概論】 1. 脱毛の歴史 2. 現代の脱毛法の分類</p> <p>【到達目標】 脱毛の進化や美容電気脱毛や美容ライト脱毛へと市場が拡大した流れを理解し、脱毛の種類・特徴を理解する。</p>						
2	<p>【毛髪学概論】 1. 毛髪学概論 2. 毛と毛包の構造 3. 発毛の仕組みと毛周期</p> <p>【到達目標】 皮膚組織の付属器官である毛について、皮膚の構造上から毛の全体像を把握する。</p>						
3	<p>【脱毛技術を行う際の知っておくべき病気】 1.脱毛時に必要な病気の知識 2. 禁忌事項の病気 3.血液感染の病気 4.皮膚疾患への対応 5.体質への配慮</p> <p>【到達目標】 注意すべき皮膚疾患と禁忌事項を理解する。また発生要因からみた皮膚疾患の分類と、医師の承諾を得る必要性がある病気を理解し、安全に施術を行うようにする。</p>						
4	<p>【美容脱毛に関する衛生管理】 1. 美容脱毛施術と衛生管理 2. 清潔・消毒 3. 手順と衛生管理</p> <p>【到達目標】 卫生管理に対する知識を理解し、備品別の消毒方法を学ぶ。</p>						
5	<p>【美容脱毛のカウンセリング】 1. カウンセリング目的 2. カウンセリングの要点 3. カウンセリングシートの作成 4. 説明と同意</p> <p>【到達目標】 脱毛の施術を行う際、最適で安全な方法を提案できるよう、ヒアリングのポイント、施術計画・費用・技術説明を行う必要性について理解が出来る</p>						
6	<p>【ワックス脱毛実技】 1. ワックス脱毛の特色 2. ワックス剤と施術前の注意 3. 脱毛実技手順 4・アフターケアについて</p> <p>【到達目標】 ワックス脱毛の特色について学び、長所と短所を理解する。イングローヘアを引き起こす要因と対処方法を、ホームケアを含めて説明が出来る</p>			小テスト・解説 20点満点中12点以上 を合格とする			
到達目標	毛の解剖学を理解し、お客様の要望や毛の状態によって美容脱毛の種類を提案出来るようになる。また、禁忌事項や病気を理解し安全に施術を行うことが出来、アフターカウンセリングやホームケアアドバイスをお客様に説明が出来る。						
評価方法	各期の学科試験、小テスト（学科試験80%、小テスト20%）、出席状況、受講態度等を考慮して成績評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない						
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEA美容脱毛学テキスト シデスコ対策配布プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・川添・森谷		
科目名	エステティック技術実習 (フェイシャル)	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	①低周波機器の理論を理解し、運動生理学の観点と解剖生理学の観点から技術工程を修得する ②シデスコ国際試験を想定し、トリートメントを選択肢を増やす為応用技術を修得する				
授業回	学習内容				備 考
1~3	フェイシャル基礎技術⑩ 低周波 【到達目標】 低周波電流作用によって、持続的に筋肉を運動をさせ表情筋を鍛える理論を学び、技術工程を修得し運動生理学の観点から説明が出来るようになる。				
4~6	フェイシャル応用技術① 応用マッサージ 【到達目標】 肌質・肌トラブル・年齢によってマッサージの技法を変え、効果・目的に沿った組み合わせの手技を行う事が出来る。				
7・8	フェイシャル応用技術② シデスコ試験対応技術(ティンティング・ツィーリング) 【到達目標】 睫毛と眉毛を染料で染める技術を、注意事項・禁忌事項を確認し安全に行える工程を修得する。また、染料の放置時間や施術頻度を説明出来るようになる。				
9・10	フェイシャル応用技術総合演習 シデスコ国際試験 フェイシャルトリートメント工程 【到達目標】 コンサルーテーションに沿って組み立てた施術計画を、実践し効果を理解して行うことが出来る				
到達目標	お客様の年齢層や肌トラブルのレベル別にトリートメントを組み立て、技術工程の目的・効果を説明できるようになる。				
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上で単位取得とする。				
テキスト	新エステティック学－技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・川添・森谷				
科目名	エステティック技術実習 (フェイシャル)	学 年	2	実施時期	後期		
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	54		
教育目標・ねらい	トラブル別のフェイシャルトリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択、マッサージの技法選択、ホームケアアドバイスの一連の流れを修得する。シデスコ国際試験を想定し、各工程の説明を行う。						
授業回	学習内容			備 考			
1	フェイシャル応用技術総合演習 肌トラブル別トリートメント(脂性肌・ニキビ) 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。						
2	フェイシャル応用技術総合演習 肌トラブル別トリートメント (乾燥肌・毛細血管拡張・水分不足) 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。						
3	フェイシャル応用技術総合演習 トラブル別肌トリートメント (老化肌) 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。						
4	フェイシャル応用技術総合演習 トラブル別肌トリートメント (色素沈着) 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。						
5	フェイシャル応用技術総合演習 トラブル別トリートメント (敏感肌) 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。						
6~7	フェイシャル応用技術総合演習① シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の肌状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。						
到達目標	技術理論・専門科目理論を総合的にまとめ、施術工程の組み立てを行いトラブル改善の裏付けと説明と実践を行うことが出来る。						
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上で単位取得とする。						
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・川添・森谷		
科目名	エステティック技術実習（ボディ）	学年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	30
教育目標・ねらい	①ボディパック・マスクの技術工程・商材の種類・主要成分を学び、施術目的・効果を出す技法を学ぶ ②美容電気機器低周波の工程を学び、筋肉の収縮状態を正確に行えるように筋肉の位置や周波数の違いによる作用を学ぶ ③お客様の身体の状況を正確に把握し、施術計画を立てる為にカウンセリングの工程を学ぶ				
授業回	学習内容			備考	
1	ボディ基礎実技⑨ ボディパック・マスク 1. クレイタイプ 2. 粉末タイプ 3. ジェルタイプ 4. クリームタイプ 【到達目標】ボディパック・マスク商材の種類・主要成分を学び、工程を学び解剖生理学・皮膚科学理論に結び付け実践と説明を修得する。				
2	ボディ基礎実技⑩1. 美容電気機器（ボディ低周波）－下肢・背部 【到達目標】正しい筋肉の位置に低周波パッドを置き、筋肉の収縮を確認する				
3	ボディ基礎実技⑩ 1. 美容電気機器（ボディ低周波）－腹部・腕 【到達目標】正しい筋肉の位置に低周波パッドを置き、筋肉の収縮を確認する				
4	ボディ応用技術① 1. ボディカウンセリング（スキンチェック・トラブルチェック・身体チェック） 【到達目標】お客様の身体の状態を正確に把握することで、施術計画を立て安全に正確に施術を行うことが出来る。				
5	ボディ応用技術① 1. ボディカウンセリング（スキンチェック・トラブルチェック・身体チェック） 【到達目標】お客様の身体の状態を正確に把握することで、施術計画を立て安全に正確に施術を行うことが出来る。				
6	ボディ応用技術① 1. ボディカウンセリング（スキンチェック・トラブルチェック・身体チェック） 【到達目標】お客様の身体の状態を正確に把握することで、施術計画を立て安全に正確に施術を行うことが出来る。				
7	ボディ応用技術① ボディカウンセリング総復習 ※ 代謝促進 【到達目標】サロンを想定し、お客様のご案内からボディカウンセリングの一連を流れを実践方式で行う。 クライアントケアを意識し、エステティシャンとして施術計画を立て実践する事ができる。				

授業回	学習内容	備 考
8	ボディ応用技術① ボディカウンセリング総復習 ※ セルライトの改善 【到達目標】サロンを想定し、お客様のご案内からボディカウンセリングの一連を流れを実践方式で行う。 クライアントケアを意識し、エステティシャンとして施術計画を立て実践する事ができる。	
9	ボディ応用技術① ボディカウンセリング総復習 ※ 血液循環の促進 【到達目標】サロンを想定し、お客様のご案内からボディカウンセリングの一連を流れを実践方式で行う。 クライアントケアを意識し、エステティシャンとして施術計画を立て実践する事ができる。	
10	ボディ応用技術① ボディカウンセリング総復習 ※ 筋肉強化 【到達目標】サロンを想定し、お客様のご案内からボディカウンセリングの一連を流れを実践方式で行う。 クライアントケアを意識し、エステティシャンとして施術計画を立て実践する事ができる。	
到達目標	あらゆる施術目的に対応出来るように、美容電気器の選択肢の幅を広げる。また、技術工程がもたらす施術効果が理論の基づいていることを立証する口頭説明が出来るようになる。	
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上で単位取得とする。	
テキスト	新エステティック学－技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・川添・森谷		
科目名	エステティック技術実習（ボディ）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	身体の症状別のボディトリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択、マッサージの技法選択、ホームケアアドバイスの一連の流れを修得する。シデスコ国際試験を想定し、各工程の説明を行う。				
授業回	学習内容			備 考	
1	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 ※ むくみ・老廃物の排出 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				
2	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 ※ 静脈瘤・毛細血管拡張症 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				
3	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 ※ ストレッチマーク ・皮膚のたるみ 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				
4	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				
5	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 総復習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				
6	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 総復習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				
7	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 総復習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				

授業回	学習内容	備 考
8	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 総復習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。	
9	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 総復習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。	
10	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 総復習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。	
到達目標	技術理論・専門科目理論を総合的にまとめ、施術工程の組み立てを行いトラブル改善の裏付けと説明と実践を行うことが出来る。	
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上で単位取得とする。	
テキスト	新エステティック学－技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	唐沢		
科目名	エステティック技術実習 (ネイル実技)	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	ネイルの基礎知識・基礎技術を習得し、 安全且つ衛生面に配慮し技術工程を行うことが出来る				
授業回	学習内容			備 考	
1	・道具のセッティング、使用方法/ネイル技能検定3級試験概要説明 ・ファイリングカットスタイル/ファイリング 【到達目標】 ネイル道具のセッティングができるようになり、ネイル技能検定3級試験の内容を理解する ファイリングカットスタイルの種類と定義を理解し、「ラウンド」の定義を説明・実践することができるようになる				
2	・ネイルケア、ニッパー 【到達目標】 プッシャーを使用し自身の爪のプッシュバック・プッシュアップニッパーハンドリングができるようになる				
3	ネイルケア(相モデル) 【到達目標】 プッシャーを使用し相モデルのプッシュバック・プッシュアップニッパー哈ンドリングができるようになる				
4	ネイルケア模擬テスト 【到達目標】 正しく安全に道具が使用できるようになる				
5	カラーリング/ネイルアート 【到達目標】 赤ポリッシュをムラなくきれいに塗ることができるようになる				
6	カラーリング 【到達目標】 キューティクルラインやサイドラインをきれいに塗ることができるようになる				

授業回	学習内容	備 考
7	ネイルアート 【到達目標】花のアートの描く手順を理解し、水分量を調節しながら花のアートを描くことができるようになる	
8	タイムトライアル 【到達目標】正しく道具を使用し、ネイルケアから仕上げまで時間内に終わらせることができるようになる	
9	ネイル技能検定対策① 【到達目標】ネイル技能検定3級受験と同じスケジュールで技術工程を行うことが出来る	
10	ネイル技能検定対策② 【到達目標】ネイル技能検定3級受験と同じスケジュールで技術工程を行うことが出来る	
到達目標	正しく、安全にネイル道具を使用することができるようになる 赤ポリッシュを美しく塗ること、花のネイルアートを描くことができるようになる ネイル技能検定3級に合格	
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は評価対象としない	
テキスト	JNAテクニカルテキスト	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・川添・森谷		
科目名	エステティック技術実習（美容脱毛）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	30
教育目標・ねらい	脱毛は衛生面に特に注意し、安全に施術を行う技術工程を学ぶ。また、毛の種類によって技法の効果が異なる事を実践で学ぶ				
授業回	学習内容				備 考
1	美容脱毛実技 1. 技術環境設営 2. スキンチェック 3. 手指・皮膚消毒 4. 毛流の確認 5. パウダー塗布 6. 温度確認 7. ウォームワックス施術 8. 脱毛後の確認 9. 皮膚のコンディションを整える 【到達目標】 ウォームワックスの技術工程を学び、衛生面に配慮し安全に施術を行う技術を修得する				
2	美容脱毛実技 ウォームワックス 1. 下肢 2. 腕 【到達目標】 部位によって、商材の塗布の仕方・皮膚の保護の仕方を実践で覚える				
3	美容脱毛実技 1. 技術環境設営 2. スキンチェック 3. 手指・皮膚消毒 4. 毛流の確認 5. パウダー塗布 6. 温度確認 7. ホットワックス施術 8. 脱毛後の確認 9. 皮膚のコンディションを整える 【到達目標】 ホットワックスの技術工程を学び、衛生面に配慮し安全に施術を行う技術を修得する				
4	美容脱毛実技 ホットワックス 1. 脇 2. ビキニライン 【到達目標】 部位によって、商材の塗布の仕方・皮膚の保護の仕方を実践で覚える				
5	美容脱毛実技演習 ウォームワックス・ホットワックス総合演習 【到達目標】 衛生・安全を確認し、所定の時間内に効率敵に作業が出来るようになる				
到達目標	体毛の種類や皮膚の状態を確認し技法の選択を行い、衛生的に問題なく安全に施術を行うことが出来る。また、トラブルが起きた際に、迅速に対応出来る知識と実践が行うことが出来る。				
評価方法	所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上で単位取得とする。				
テキスト	新エステティック学－技術編Ⅰ AEA美容脱毛学テキスト シデスコマニュアルテキスト 配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・川添・森谷				
科目名	エステティック技術実習 (来客実習/総合技術実習)	学 年	2	実施時期	前期		
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	72		
教育目標・ねらい	実際のサロン業務を想定し、外部のお客様対応を行う。施術面ではあらゆるお客様の肌トラブル・身体の症状の施術計画を行い実践し、サロン運営面では組織としてサロンを管理することを各セクション毎に経験をする。						
授業回	学習内容			備 考			
	<p>【授業の狙い】 下記 6 つの業務を全般的に行う。</p> <p>(1)受付業務 (2)運営業務 (3)施術 (4)企画・構成 (5)人材育成業務 (6)販売業務</p> <p>1日6時間×3日を1クールとし、計5クール実施する。各クールにおける到達目標は以下のとおりである。</p>			※ 授業回数 1 回を 6 時間と設定			
1~3	<p>【到達目標】</p> <p>各業務を一通り経験し、業務内容を理解する</p>						
4~6	<p>【到達目標】</p> <p>実習担当グループごとに目標を設定し、目標達成のための実行計画作成→実行→結果評価と改善計画立案というPDCAサイクルを経験する</p>						
7~12	<p>【到達目標】 改善計画の実行→次回改善計画作成というPDCAサイクルの深化を実際に経験し、学びを深める</p> <p>(1)5クールの結果を総括し、各グループの成功事例、要改善点を全員で共有する</p> <p>(2)各自の経験を通じ、あるべきエステティシャンと現状を比較し、今後のキャリアプランを具体的に作成する</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン運営者の意識を持ち、自主的に行動・発言を行うことが出来るようになる ・あらゆるお客様の施術を行うことで、知識・技術の対応力が身に付き施術計画の幅を広げることが出来る 						
評価方法	来客者の5段階顧客満足度アンケートを行い、集計結果に応じ100点満点換算で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	来客実習マニュアルテキスト及び配布プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、顧客満足向上に直結する実践的アドバイスを行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・川添・森谷				
科目名	エステティック技術実習 (来客実習/総合技術実習)	学年	2	実施時期	後期		
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	58		
教育目標・ねらい	実際のサロン業務を想定し、外部のお客様対応を行う。施術面ではあらゆるお客様の肌トラブル・身体の症状の施術計画を行い実践し、サロン運営面では組織としてサロンを管理することを各セクション毎に経験をする。						
授業回	学習内容			備考			
	<p>【授業の狙い】 下記6つの業務を全般的に行う。</p> <p>(1)受付業務 (2)運営業務 (3)施術 (4)企画・構成 (5)人材育成業務 (6)販売業務</p> <p>1日6時間×3日を1クールとし、計5クール実施する。各クールにおける到達目標は以下のとおりである。</p>			※ 授業回数1回を6時間と設定			
1~6	<p>【到達目標】 員は補助的なアドバイザーという位置づけで、各グループが作成した事業計画に基づき、自主的なサロン運営を行う。</p>			教			
7~10	<p>【到達目標】 グループの成功事例、要改善点を共有し、学科の総意としての事業計画を議論・作成し、各グループがサロンを運営する。 運営結果について学科全体で総括する。</p>			各			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン運営者の意識を持ち、自主的に行動・発言を行うことが出来るようになる ・あらゆるお客様の施術を行うことで、知識・技術の対応力が身に付き施術計画の幅を広げることが出来る 						
評価方法	来客者の5段階顧客満足度アンケートを行い、集計結果に応じ100点満点換算で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	来客実習マニュアルテキスト及び配布プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、顧客満足向上に直結する実践的アドバイスを行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添		
科目名	エステティック技術実習 (美翔祭)	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	ヘアショーの企画・構成を考察し、表現技術を養う また、チームワークを学び協調性を養う				
授業回					
1	コンセプト・技術内容立案 【到達目標】 魅せる表現技術（ボディペイント）とは何かを考え、テーマを考える				
2	クラス運営編成 【到達目標】 役割毎に仕事内容を決め、スケジュール管理・備品管理を行う				
3	モデルカルテ・台本・舞台構成立案 【到達目標】 テーマに沿った衣装・ペイント内容を考え、演習内容の確認を行う				
4	ペイント練習 【到達目標】 ボディペイントの技法を習得し、色使い・デザインの練習を行う				
5	ウォーキング練習 【到達目標】 舞台演習に沿った、表現方法（ウォーキング・ポージング）を練習しプロポーションを鍛える				
到達目標	学生自ら総合演出を考え、表現技術を磨くことで技術向上・お客様を魅せる方法を考え実践することが出来る				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る出席者は評価対象としない。				
テキスト	プリント配布				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エスティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエスティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添		
科目名	高度美容技術（アロマセラピー）	学年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	60
教育目標・ねらい	アロマオイルの使用したトリートメントの作用と技術工程を学び、お客様の体の不調を和らげる方法を学ぶ				
授業回	学習内容			備考	
1	アロマセラピー技術編 技術工程(顔・デコルテ・首・頭部・腹部・下肢前面) 技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
2	アロマセラピー理論編・技術編① コンサルテーションの書き方 【到達目標】 お客様の肌質・トラブル・精神面をヒアリングし、エッセンシャルオイル・キャリアオイルの効能を選択し、ブレンディングを行うことが出来る。				
3	アロマセラピー理論編・技術編② コンサルテーションの書き方 【到達目標】 お客様の肌質・トラブル・精神面をヒアリングし、エッセンシャルオイル・キャリアオイルの効能を選択し、ブレンディングを行うことが出来る。				
4	アロマセラピー理論編・技術編③ コンサルテーションの書き方 【到達目標】 お客様の肌質・トラブル・精神面をヒアリングし、エッセンシャルオイル・キャリアオイルの効能を選択し、ブレンディングを行うことが出来る。				
5	アロマセラピー技術編 総合演習（全技術工程）※ リラクゼーション 【到達目標】技術工程時間内に、コンサルテーション・ブレンディング・マッサージを行い、皮膚科学・解剖生理学観点からお客様にプレゼンテーションを行うことが出来る。				
6	アロマセラピー技術編 総合演習（全技術工程）※ 鎮静 【到達目標】技術工程時間内に、コンサルテーション・ブレンディング・マッサージを行い、皮膚科学・解剖生理学観点からお客様にプレゼンテーションを行うことが出来る。				
7	アロマセラピー技術編 総合演習（全技術工程）※ 高揚 【到達目標】技術工程時間内に、コンサルテーション・ブレンディング・マッサージを行い、皮膚科学・解剖生理学観点からお客様にプレゼンテーションを行うことが出来る。				
8	アロマセラピー技術編 総合演習（全技術工程）※ 刺激 【到達目標】技術工程時間内に、コンサルテーション・ブレンディング・マッサージを行い、皮膚科学・解剖生理学観点からお客様にプレゼンテーションを行うことが出来る。				
9	アロマセラピー技術編 総合演習（全技術工程）※ 幸福感 【到達目標】技術工程時間内に、コンサルテーション・ブレンディング・マッサージを行い、皮膚科学・解剖生理学観点からお客様にプレゼンテーションを行うことが出来る。				

授業回	学習内容	備 考
10	アロマセラピー技術編 総合演習（全技術工程）※ お客様の目的 【到達目標】技術工程時間内に、コンサルテーション・ブレンディング・マッサージを行い、皮膚科学・解剖生理学観点からお客様にプレゼンテーションを行うことが出来る。	
到達目標	身体の不調によって、アロマオイルのブレンドを行い効果・効能を考慮し技術を行うことが出来る。またアロマオイルの効能を活かしたホームケアアドバイスを伝えることが出来る	
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。	
テキスト	シデスコアロママニュアルテキスト 新エステティック学一選択編	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・川添・森谷				
科目名	高度美容技術(シデスコ症例研究)	学年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	72		
教育目標・ねらい	エステティックに関する基礎・応用教育で学んだ知識・技術を総合し、症例研究としてお客様へ施術をした結果を分析し論文作成をこなす						
授業回	学習内容			備考			
1~3	1. 授業内容のオリエンテーション（概要説明、研究テーマの選び方、論文作成の進め方） 2. 各自テーマ設定 【到達目標】 各自のテーマに従った施術の実践と考察結果を論文にまとめ、グループ討議の場で発表する。発表結果に対する教員の評価と指導に基づき、引き続き研究テーマとして考察を続けるかどうかを判断する						
4	各自の考察結果をグループ討議の場で発表し、互いの考察に対する評価を行う。発表結果に対する教員の評価と指導に基づき、論文の概要を作成する						
5	各自の論文テーマに沿って、クライアントの選定と計画に従つ施術を実行する。また、年齢別や生活環境別で使用する商材・機器・時間配分等も自ら決定し効果の考察を行う						
6	論文に沿った施術内容の化粧品・機器の選択を行い効果・効能について調べ選択を行う。						
7~36	各自の論文テーマに沿った施術計画を実行し、3人のクライアントに対し4回ずつのトリートメントを行う。 また、施術計画に対し効果・効能がどのような結果を出したか考察し考察を記録し比較を行うことが出来る。						
到達目標	興味がある研究テーマに対し、考察力や発信力を養い専門知識のレベルを上げることが出来る。また研究結果に対し、問題意識を持ち常に学びを継続する力につけることが出来る						
評価方法	症例研究レポート提出 シデスコ国際試験の評価に基づき、70点以上で合格とする。なお所定授業時数（全体の4/5）を下回る出席者は評価対象としない。						
テキスト	シデスコマニュアルテキスト 配布プリント 全テキスト						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添				
科目名	高度美容技術(匠すと)	学 年	2	実施時期	後期		
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	18		
教育目標・ ねらい	技術研鑽に励み、技術レベルの向上を図る						
授業回	学習内容			備 考			
1	1.競技オリエンテーション 2.各競技説明 3.各競技デモストレーション						
2	【競技演習】						
3	【競技演習】						
4	【競技演習】						
5	【競技演習】						
6	【競技演習】						
7	【競技演習】						
8	【競技演習】						
9	競技本番						
到達目標	題目に沿った施術計画を立案し、応用技術を時間内に衛生・安全・効果を意識しお客様対応を行う						
評価方法	当日出席/競技規定による採点基準にそった項目を100点満点で採点を行う。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。						
テキスト	全テキスト						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添		
科目名	高度美容技術（スパセラピスト）	学年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択の別	選択	授業時間(単位)	180
教育目標・ねらい	様々なセラピーに関する知識を深め、ホームケアアドバイス知識やエステティックと合わせる必要性を学ぶ。				
授業回	学習内容			備考	
1 (6時間)	セラピーの起源と定義 1. 東洋の伝統医学 2. アーユルヴェーダー 【到達目標】東洋医学の概要を理解し、他の医学との関連性や違いをりかいでいる。また、アーユルヴェーダーの歴史や体质・特性を含めた全体を理解し、お客様の状況に沿って技術を選択出来るようになる。				
2	セラピーの起源と定義 3. 中医学 【到達目標】中医学の考え方や理論に基づいた体质の分類によって、必要な食材や生活習慣・自分の体质を理解する。また、お客様へホームケアアドバイスとして説明することが出来るようになる。				
3	セラピーの起源と定義 4. 西洋で生まれたセラピー 5. アロマテラピー 【到達目標】アロマテラピーの起源から作用・製造方法・人体への作用する仕組みを理解し、エステティックと合わせて体质改善や症状の緩和に役立てることが出来る。				
4	セラピーの起源と定義 6. リンパドレナージュ 7. タラソテラピー 【到達目標】リンパドレナージュ・タラソテラピーの起源から、歴史や身体の仕組み・作用・必要な環境・設備等を理解し、お客様へ提供する技術・知識の幅を広げることが出来る。				
5	東洋セラピーの技法 1. アーユルヴェーダー 【到達目標】アーユルヴェーダーの様々な技法を学び、施術方を総合的に理解し、お客様の要望や体の症状によって施術方法を変えて効果を出すことが出来るようになる。				
6	東洋セラピーの技法 2. カッピング療法 3. 耳つぼ療法 4. 気功 【到達目標】身体の反応と臓器への作用を学び、エステティックの技術に取り入れ施術効果を出すことが出来る。				
7	小テスト・解説			20点満点中、12点以上を合格とする	
8	西洋セラピー 1.アロマテラピー 【到達目標】アロマテラピーを活用したホームケアトリートメントを学び、お客様へ説明が出来るようになる。				
9	西洋セラピー 2. リンパドレナージュ 3. タラソテラピー 【到達目標】手法や作用を学び実践に活かすことが出来る。				
10	小テスト・解説			20点満点中、12点以上を合格とする	

授業回	学習内容	備 考
11	西洋のセラピー 4. リフレクソロジー 5. ポトロジー 【到達目標】ゾーン理論や各臓器の反射区を理解し、体の症状の緩和につなげることが出来る。	
12	西洋のセラピー 6. ストーンセラピー 【到達目標】ストーンセラピーの歴史・人体への作用・ストーンの浄化作用・消毒方法を学び、お客様の症状緩和の選択肢の幅を広げることが出来る。	
13	西洋セラピー 7. オーラソーマ 【到達目標】色の性質を知り、お客様の心理状態を読み解き施術に活かすことが出来る。	
14	代替療法 1.代替療法の現状 2. 歴史と主な分類 3. エステティックと代替療法 4. 代替療法によるサプリメント 【到達目標】予防医学の観点から様々な療法の知識を学び、エステティックの五感療法と組わせて知識の幅を広げる。また、お客様の症状に合わせた施術をする際の判断材料として知識の幅が広がる。	
15	ホットストーン・ロミロミ 1. 歴史 2. 目的・作用 3. 技術工程 【到達目標】概要を踏まえ、技術全体を把握する。エステティックとの組み合わせを学ぶ	
16	ホットストーン・ロミロミ 1.技術工程(上半身) 2.技術工程(下半身) 【到達目標】体重移動・姿勢・ストーンの使い方を学び、解剖生理学観点から効果を学び技術を修得する	
17・18	ホットストーン・ロミロミ 技術工程(全身) 【到達目標】体重移動・姿勢・ストーンの使い方を学び、解剖生理学観点から効果を学び技術を修得する	
19	アーユルヴェーダー 1.技術工程(前操作) 2.技術工程(上半身・頭部) 3.技術工程(下半身) 【到達目標】全身の浄化作用を確認し、チャクラを意識しリンパの流れに沿って技術工程を学び修得する	
20~22	アーユルヴェーダー 全身演習 【到達目標】全身の技術工程を確認しながら、体重移動・姿勢・各技術のリズム・スピード・連動性を意識しながら全工程の演習を行う	
23	ティラピス 1.体の特性 2.呼吸法 3.筋肉の使い方 【到達目標】自分の体の特徴を認識し、姿勢の歪み・筋肉のつき方を学ぶ	
24	ティラピス 1.姿勢 2.ストレッチ 3.立ち方 【到達目標】プロポーションバランスを認識し、姿勢や立ち方を矯正する	
25	ティラピス 1.自立神経について 2.食生活について 【到達目標】心のバランスが姿勢や呼吸の仕方、体型に現れることを学ぶ	
26・27	ティラピス 全体練習 【到達目標】姿勢・呼吸・柔軟・筋肉の使い方を総合的に学び実践を行う	
28	美容機器学 1.キャビテーション(ボディ・フェイシャル) 【到達目標】最新美容機器を使用し、キャビテーションの理論と演習を行う	

授業回	学習内容	備 考
29	美容機器学 1.ラジオ波・吸引（ボディ・フェイシャル） 【到達目標】 最新美容機器を使用し、キャビテーションの理論と演習を行う	
30	美容機器学 1.光脱毛 【到達目標】 光脱毛機器の技術工程を習得し、理論と合わせ安全に施術を行う	
到達目標	エステティックと組わせてより効果が見込まれ、お客様の要望に沿えるよう施術・知識の選択肢の幅が広くなり提案方法も増える。	
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学－技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添		
科目名	高度美容技術（CIDESCO）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	選択	授業時間 (単位)	180
教育目標・ ねらい	シデスコ国際試験において、トラブルや改善方法について説明が出来るよう学科の総復習を行い施術計画をたてる				
授業回	学習内容			備 考	
1	シデスコ対策講座一皮膚科学編 【到達目標】コンサルテーションによる肌診断の解説を行い、皮膚科学全般の知識の総復習を行い、口頭質問で説明が出来る。				
2	シデスコ対策講座一栄養学編 【到達目標】栄養学の総復習とおこない、ホームケアアドバイス時に生活習慣と肌の作用を関連させて提案が出来る。				
3	シデスコ対策講座一化粧品学編 【到達目標】化粧品学の総復習を行い、ホームトリートメントアドバイスでお客様の要望やトラブルのか改善が見込まれる商材の成分を説明することが出来る。				
4・5	シデスコ対策講座一美容電気機器学 【到達目標】シデスコ国際試験で使用する電気機器理論の総復習を行い、利点・目的・禁忌事項・頻度・消毒方法・施術全体の口頭試問での説明が出来る				
6	シデスコ対策講座一運動生理学編 【到達目標】シデスコ国際試験に向けて、技術を理論的に説明することが出来るようになる				
7	シデスコ対策講座一リンパ理論編 【到達目標】シデスコ国際試験に向けて、技術を理論的に説明することが出来るようになる				
8	シデスコ対策講座一解剖生理学編① 【到達目標】シデスコ国際試験に向けて、技術を理論的に説明することが出来るようになる				
9・10	シデスコ対策講座一実技編①（ティンティング＆ツイージング） 【到達目標】眉・まつ毛を染料で染める技術を、理論を元に安全に行うことが出来る				
11・12	【シデスコ対策講座一実技編②（コンサルテーション）】 【到達目標】施術時間内に、肌のトラブルを分析し施術計画を立てお客様にご提案を行う				
13・14	【シデスコ対策講座一実技編②（コンサルテーション）】 【到達目標】施術時間内に、体のトラブルを分析し施術計画を立てお客様にご提案を行う				

授業回	学習内容	備 考
15	【シデスコ対策講座－実技編③（コンサルテーション）】 【到達目標】施術時間内に、肌・体のトラブルを分析し施術計画を立てお客様にご提案を行う	
16・17	【シデスコ対策講座－実技編④（ディープクレンジング）】 【到達目標】フェイシャル(FA)：肌トラブルによって化粧品を選択肢、選択理由を述べることが出来る	
18・19	【シデスコ対策講座－実技編④ (ディープクレンジング・プレトリートメント)】 【到達目標】ボディ(BO)：肌トラブルによって化粧品を選択肢、選択理由を述べることが出来る	
20・21	【シデスコ対策講座－実技編④（美容電気機器）】 【到達目標】FA：肌トラブルによって機器の選択を行い、選択理由を述べることが出来る	
22・23	【シデスコ対策講座－実技編④（美容電気機器）】 【到達目標】BO：体のトラブルによって機器の選択を行い、選択理由を述べることが出来る	
24	【シデスコ対策講座－実技編⑤（マスク・パック）】 【到達目標】FA：肌トラブルによってマスク剤の選択を行い、成分効果を述べることが出来る	
25	【シデスコ対策講座－実技編⑤（マスク・パック）】 【到達目標】BO：体トラブルによってマスク剤の選択を行い、成分効果を述べることが出来る	
26	【シデスコ対策講座－実技編⑥（マッサージ）】 【到達目標】FA：皮膚や筋肉の状態を確認し、お客様の状態にあったマッサージの技法を選択する	
27	【シデスコ対策講座－実技編⑥（マッサージ）】 【到達目標】BO：体や筋肉の状態を確認し、お客様の状態にあったマッサージの技法を選択する	
28	【シデスコ対策講座－実技編⑦（メイク・ネイル）】 【到達目標】お客様の顔の形や肌質・トラブルによって使用するメイク用品を選択し実践する 年齢や爪の健康状態により、カラーを塗分けることが出来る。	
29	【シデスコ対策講座－実技編⑧（脱毛）】 【到達目標】ワックス脱毛の理論を理解し、時間内に安全で効率よく施術を行うことが出来る また、禁忌事項・ホームケアアドバイスをご提案することが出来る	
30	【シデスコ対策講座－実技編⑧（脱毛）】 【到達目標】ワックス脱毛の理論を理解し、時間内に安全で効率よく施術を行うことが出来る また、禁忌事項・ホームケアアドバイスをご提案することが出来る	
到達目標	施術計画の説明を行う際に、理論に基づいて根拠のある説明が出来るようになる。また、応用力が身に付きさまざまなお客様の状況に対しても対応できる知識力がある	
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	シデスコマニュアルテキスト 配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	井上		
科目名	美容美術（造形学とデザイン）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ね らい	表現技術(形、色彩、構成)と表現材料を理解し、イメージ表現できる能力を高める				
授業回	学習内容			備考	
1	ボディーペイントの歴史 【到達目標】 ボディーペイントの歴史を理解を深めることができる			コピー配布	
2	テーマの決め方 【到達目標】 テーマの決め方を学ぶことができる			絵の具 三善	
3	ペイント実習1 【到達目標】 テーマの決め、実際に自分の腕にペイントできるようになる。			絵の具 三善	
4	ペイント実習1 【到達目標】 テーマの決め、実際に自分の腕にペイントできるようになる。			絵の具 三善	
5	ペイント実習2 顔に各自ペイントする。 【到達目標】 テーマを決めて色彩を考えて顔に描けるようになる。			絵の具 三善	
6	ペイント実習2 顔に各自ペイントする。 【到達目標】 テーマを決めて色彩を考えて顔に描けるようになる。			絵の具 三善	
7	ペイント実習2 顔に各自ペイントする。 【到達目標】 テーマを決めて色彩を考えて顔に描けるようになる。			絵の具 三善	
8	ペイント実習2 顔に各自ペイントする。 【到達目標】 テーマを決めて色彩を考えて顔に描けるようになる。			絵の具 三善	
9	ペイント実習3 顔に各自ペイントする。 【到達目標】 テーマを決めて色彩を考えて顔に描けるようになる。			絵の具 三善	
10	ペイント実習3 顔に各自ペイントする。 【到達目標】 テーマを決めて色彩を考えて顔に描けるようになる。			絵の具 三善	

授業回	学習内容	備考
11	ペイント実習3 顔に各自ペイントする。 【到達目標】 テーマを決めて色彩を考えて顔に描けるようになる。	絵の具 三善
12	ペイント実習3 顔に各自ペイントする。 【到達目標】 テーマを決めて色彩を考えて顔に描けるようになる。	絵の具 三善
13	背中・顔・腕のペイント 【到達目標】 2人ペアーとなり 構図と色彩を考えることができるようになる。	絵の具 三善
14	背中・顔・腕のペイント 【到達目標】 2人ペアーとなり 構図と色彩を考えることができるようになる。	絵の具 三善
15	背中・顔・腕のペイント 【到達目標】 2人ペアーとなり 構図と色彩を考えることができるようになる。	絵の具 三善
16	背中・顔・腕のペイント 【到達目標】 2人ペアーとなり 構図と色彩を考えることができるようになる。	絵の具 三善
17	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 構図、色彩、立体感、存在感の確認し表現できるようになる。	絵の具 三善
18	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 構図、色彩、立体感、存在感の確認し表現できるようになる。	絵の具 三善
19	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 構図、色彩、立体感、存在感の確認し表現できるようになる。	絵の具 三善
20	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 全身のペイントとチームのバランス表現できるようになる。	絵の具 三善
21	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 全身のペイントとチームのバランス表現できるようになる。	絵の具 三善
22	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 全身のペイントとチームのバランス表現できるようになる。	絵の具 三善

授業回	学習内容	備考
23	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 全身+衣装 チームのバランス、色彩、衣装チェックして表現できるようになる。	絵の具 三善
24	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 全身+衣装 チームのバランス、色彩、衣装チェックして表現できるようになる。	絵の具 三善
25	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 全身+衣装 チームのバランス、色彩、衣装チェックして表現できるようになる。	絵の具 三善
26	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 美翔祭の全体チームのバランス、色彩、衣装チェックして表現できるようになる。	絵の具 三善
27	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 美翔祭の全体チームのバランス、色彩、衣装チェックして表現できるようになる。	絵の具 三善
28	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 美翔祭の全体チームのバランス、色彩、衣装チェックして表現できるようになる。	絵の具 三善
29	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 美翔祭の全体チームのバランス、色彩、衣装チェックして表現できるようになる。	絵の具 三善
30	全身の（背中・顔・首・肩・腕・脚）ペイント 【到達目標】 美翔祭の全体チームのバランス、色彩、衣装チェックして表現できるようになる。	絵の具 三善
到達目標	造形とデッサンを応用して、美翔祭でトータルイメージを表現し人を感動させる。	
評価方法	提出課題（作品）・課題レポート（80%）、リアクションペーパー・小テスト（20%）、出席状況、受講態度等を考慮して成績評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	コピー配布	

学科	ビジネス美容科	担当教員	鈴木		
科目名	美容美術（ファッション）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	①美翔祭衣装の制作を通しバランスとは、似合うとは何かを理論と実践で学習する ②自己表現を養いファッションを軸にしたコミュニケーション力につける				
授業回	学習内容				備 考
1~3	配色効果とファッションスタイリング 【到達目標】 ①基本配色の5つを修得（同系色、反対色、分離色、集中色、多色） 上記から理論を伴ったカラースタイリングが発揮され、美翔祭の衣装制作や日常が豊かになる感情や季節の表現に活用できる				pc、projector プリント配布 色鉛筆
4~6	錯視効果とファッションスタイリング 【到達目標】 ①錯視効果を線、明度、連続性、対比、柄の5つの視点で習得 上記から理論的に体型カバーを捉えられる。よってバランスの取れたスタイリングに発展でき、美翔祭に向けた衣装制作や日常生活に活用が期待できる				pc、projector プリント配布
7~10	衣装デザインを具体化（各アイテム、素材、アクセサリーの選定） 【到達目標】 ①舞台上で映える衣装のあり方を過去のリソースから習得 ②衣装デザインと必要アイテム、素材を具体化し講師相談する ③購入するアイテムと素材を検索し講師相談後決定に繋げる 上記3点から各部が要点化され衣裳とペイントの相乗効果への期待および衣裳制作と学生の力量が最適化でき実践学習ができる準備が整う				pc、projector プリント配布 素材見本 (使用済み残布)
11~12	制作のための個別相談とデザイン、ディテールのパターン制作 【到達目標】 ①購入した服のデザイン、配色、素材、縫製などの特徴を把握する ②リメイクする細部デザインと素材イメージの適合を確認する 上記2点からデザインに合わせて服を解く位置、デザインと使用する素材の質感を得てリメイクのイメージが具体化する よって細部デザインのパターン制作に取り組めるようになる				デザインシート 購入した服 使用を希望する素材 見本 パターンの用紙

授業回	学習内容	備 考
13~15	<p>制作のための個別相談と裁断の注意点 【到達目標】</p> <p>①服をデザイン別に解く方法について知る ②素材の裁断に必要な布目の方向とパターンのすえ方を知る 上記2点で服を正確に解くことまた、パターンを使った正しい布地裁断ができるようになる</p>	デザインシート 購入した服 購入した素材 パターン
16~18	<p>制作のための個別相談と進行点検及び仮縫い準備 【到達目標】</p> <p>①デザイン要素の高いディテールは仮縫いを行う ②布端始末の種類と方法、ウエストのまとめ方、ギャザーやタックの取り方など必要に応じて説明を受ける 上記2点の各デザインに応じた説明により何をどのように取り入れていくか知ることができ、次のステップに進めることができる</p>	デザインシート 仮縫い準備の服 素材、パターン 裁縫用具
19~21	<p>制作のための仮縫い点検、着装モデルによるバランスを確認 【到達目標】</p> <p>①ディテールを服に仮止めする仮縫い方法を知る ②仮縫い確認は着装モデルから離れた位置で行い全体感を観察することが重要であることを学ぶ ③仮縫いで得た不備は素材の質感や分量、パターン訂正を再確認する 上記3点からテーマとシルエット、ディテール、モデルとのバランスなどを実践的に理解できるようになる</p>	デザインシート 仮縫い用の服 素材、パターン 裁縫用具
22~24	<p>制作のための個別相談と進行点検及びアクセサリーイメージの具体化 【到達目標】</p> <p>①ディテールを服に縫い留める要点を知り服の制作を押し進める ②総合バランスを確認するためのアクセサリーの使用箇所を吟味する 上記2点から使用するアクセサリーの形、素材や色、大きさなどイメージが具体化しデザインも広がることから制作や購入に繋げられる</p>	デザインシート 製作途中の服 アクセサリー資料 材料・縫製用具
25~27	<p>制作のまとめに向けた個別相談と進行点検及びアクセサリーを確認 【到達目標】</p> <p>①服のディテールの出来栄え、縫製の正確さ、完成期日に合わせた仕上げ工程などの確認 ②アクセサリーを装着して服とのバランスを仮合わせし撮影する 上記2点から本番を意識した仕上げ作業に集中し効率よく注意深く進めるようになる</p>	デザインシート 製作途中の服 材料・縫製用具 購入、制作したアクセサリー

授業回	学習内容	備 考
28~30	<p>最終点検はモデル着装したトータルコーディネートを撮影し確認 【到達目標】</p> <p>①服作りの細部に渡りバランスの最終点検しスタイリングを撮影 ②アクセサリーは顔周りやヘッド、手首、シューズに至るまで配色や大きさ、質感の気配りが必要性を撮影した写真で客観視する 上記2点から舞台上で映えるトータルバランスを写真で最終調整ができる。よって本番に自信を持って臨めるようになる</p>	デザインシート 制作途中の服 材料・縫製用具 アクセサリー
到達目標	<p>①配色効果、錯視効果を活用したデザイン展開ができる ②衣装とボディペイントを一体化させたデザインである ③衣装制作はアクセサリーを含めて完成させる 上記3点からファッショントを客観的に捉える力を発揮できる</p>	
評価方法	提出課題（80%）、リアクションペーパー（20%）、出席状況、受講態度等を考慮して成績評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	適宜配布するプリント	

学科	ビジネス美容科	担当教員	霜鳥		
科目名	表現技術（英会話）	学年	2	実施時期	前期
授業形態	講義及び演習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	30
教育目標・ねらい	1. エステティックの現場をシチュエーションとして、英会話の基本をエステ関連ボキャブラリを習得しながら学ぶ。 2. シンプルな文型を繰り返し使い、実践的かつ英会話の楽しさを学べる演習とする。 3. ロールプレイを多く取り入れる。				
授業回	学習内容			備考	
1	Warm Up -自己紹介 Unit 1 - Dates and Times 【到達目標】 基本的な挨拶、時間、曜日、日付の会話表現の習得 ■				
2	Unit 2 - Greeting A Client 【到達目標】 受付時のお客様との応対・挨拶から、お待ち頂くまでの会話の流れの習得 ■				
3	Unit 3 - Making An Appointment 【到達目標】 予約時の電話応対・電話英語の習得 ■				
4	Unit 4 - Chatting with A Client Review(1) of Unit 1- 4 【到達目標】 Unit 1- 4 の要点を復習し、お客様との一般会話を習得 ■				
5	Review(1) of Unit 1- 4 Unit 11 - Polite Request and Offer (前半) 【到達目標】 Unit 1- 4 の要点を復習し、丁寧な依頼と提案の表現を習得 ■				
6	Unit 5 - Application Form Unit 6 - Counselling 【到達目標】 カウンセリングシートの記入・個人記録用紙を使い、カウンセリング時の会話・頻度の聞き方を習得				
7	Role-play 実戦練習① - Greeting & Counselling 【到達目標】 挨拶からカウンセリング終了までを、一連の動作を付けて英語で対応する ■				
8	Unit 7 - Facial 【到達目標】 フェイシャル関連表現、顔の各部分の英単語、皮膚の状態の表現、施術動作の表現の習得				
9	Unit 8 - Nails Unit 9 - Make-up Review(2) of Unit 5 - 8 【到達目標】 手足、爪及びネイル、メイク関連の単語、施術動作の表現と会話の習得 ■				
10	Unit 5- 8 の復習 Role-play 実践練習② - Facial (前半) 【到達目標】 Unit 5 - 8の要点を復習し、フェイシャルエステの施術を一連の動作を付けて実践的に英語で接客する ■			実習室使用	

授業回	学習内容	備 考
11	Unit 9 - Make-upの復習 Role-play 実戦練習③ - Facial（後半） 【到達目標】フェイシャルエステの施術を一連の動作を付けて実践的に英語で接客する☒	実習室使用
12	Unit 10 - Body 【到達目標】ボディ関連の表現や単語を演習（Role-play）を通して習得☒	
13	Unit 11 - Polite Requests and Offers（後半） Role-play 実戦練習④ - Body（前半） 【到達目標】お客様に何かをお願いするときや、ご提案するときの丁寧な表現の習得、ボディエステの施術を一連の動作を付けて実践的に英語で接客する☒	実習室使用
14	Unit 12 - Payment Review (3) of Unit 9- 12 【到達目標】支払時の金額の言い方、支払時の会話を演習（Role-play）を通して習得☒	
15	Role-play 実戦練習⑤ - Body（後半） 【到達目標】ボディエステの施術を一連の動作を付けて実践的に英語で接客する☒	実習室使用
到達目標	エステティックの現場をシチュエーションとして、実践的かつ英会話の楽しさを学ぶ。	
評価方法	小テスト、出席状況、受講態度、到達した英語レベル等を考慮して成績評価する。 なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。	
テキスト	English for Aesthetic Salons	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷				
科目名	ビジネスマインド	学年	2	実施時期	前期		
授業形態	講義・演習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	15		
教育目標・ねらい	社会人・職業人として、組織の中で自分が振る舞うビジネスマナーを正しく理解し行動変容を行う 加えて、自身の課題に向き合う課題発見能力や問題解決能力を養い、自律した思考と行動の実践。						
授業回							
1	LESSON6 ビジネスパーソンとしてのマナー（復習） 「6-1 時間のマナー、6-2 仕事上のコミュニケーション、6-3 PDCA」 【到達目標】職場での円滑な関係性を築くための基本マナーの習得。			ビジネスマナーテキスト	p 51~54		
2	LESSON2 身だしなみ+立ち居振る舞い（復習） 「2-1 身だしなみ、2-2 立ち居振る舞い」 【到達目標】『品性』のある身のこなしを学び、実践する。			ビジネスマナーテキスト	p 10~15		
3	LESSON3 言葉遣い① 「1-2 OK行動、3-1 敬語、3-2 敬語のテクニック、3-3 気になる日本語、3-4 よく使う接客用語」 【到達目標】職業人としての言葉の使い方を学び、表現できる。			ビジネスマナーテキスト	p 16~24		
4	LESSON3 言葉遣い② 「1-2 OK行動、3-1 敬語、3-2 敬語のテクニック、3-3 気になる日本語、3-4 よく使う接客用語」 【到達目標】職業人としての言葉の使い方を学び、表現できる。			ビジネスマナーテキスト	p 16~24		
5	LESSON1 ビジネスパーソンとは① 「1-4働く心構え」入社直前編 【到達目標】『9つの意識』を理解し、働く上で必要なマインドとコンピテンシーを具体的に言語化し、正しい価値観・職業観を学び、就職に備える			オリジナル教材 Powerpoint KJ法ワークショップ			
6	LESSON1 ビジネスパーソンとは② 「1-4働く心構え」入社直前編 【到達目標】『9つの意識』を理解し、働く上で必要なマインドとコンピテンシーを具体的に言語化し、正しい価値観・職業観を学び、就職に備える			オリジナル教材 Powerpoint KJ法ワークショップ			
7	LESSON1 ビジネスパーソンとは③ 「1-4働く心構え」入社直前編 【到達目標】『9つの意識』を理解し、働く上で必要なマインドとコンピテンシーを具体的に言語化し、正しい価値観・職業観を学び、就職に備える			プレゼンテーション			
8	クラス目標・個人目標振り返り			クラスミーティング			
到達目標	社会人として自分の立ち位置や直面する状況を理解し、適切な対応をとることができる。 このことにより組織の一員として認められるようになる。						
評価方法	個人目標振り返りによる自己評価と、それに基づく担任面談の結果による。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない。						
テキスト	ビジネスマナーテキスト						

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・森谷・川添				
科目名	学園祭	学年	2	実施時期	後期		
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	60		
教育目標・ねらい	基礎技術理論・演習を学び、お客様へ施術を行う工程を学ぶ。 また、ビジネスマナーと接客を通し実践を行う。						
授業回	学習内容			備考			
1	1. 学科コンセプト・技術内容のミーティング 【到達目標】 基礎技術理論・演習で学び、習得した技術をお客様に提供する方法を考えることが出来る						
2	2. 店舗マネジメント 【到達目標】 客層リサーチ・集客方法・値段設定・予約時間設定・商材選定を行い、目標金額設定を行い店舗管理能力を養う						
3	3. 模擬店舗運営① 【到達目標】 実際の店舗を想定し、接客・施術・備品管理・シフト管理・会計を行い導線の確認を行う						
4	4. 模擬店舗運営② 【到達目標】 技術レベルの確認を行い、技術提供レベルを学生同士フィードバックを行う						
5	5. 模擬店舗運営③ 【到達目標】 実際の店舗運営リハーサルを行い、安全・衛生・技術の最終確認を行う						
到達目標	お客様に施術を提供する意味を理解し、自信で技術習得に励み店舗運営の方法を考察することが出来る						
評価方法	課題提出により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る出席者は評価対象としない。						
テキスト	新エステティック学 技術マニュアル						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エスティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエスティシャン養成の観点から授業を行う						